

# 舞台劇 「あの鐘を鳴らすのはサザエ」

1

配役 女1

独房 もしくは病室

女は作業着のような個性の無い服装。

## 第一章

暗 音楽（どしや降りの雨の中で）

音楽突然止まり 明転

舞台の真ん中にうづくまる女

沈黙

うづくまったまま

かつお かつお 学校遅れるわよ！

沈黙

少し顔を上げて まだ目は伏せて

母さん マスオさんの夏物のネクタイどこにしまったかしら？  
ほら かつお いつまでもおかわりしてるんじゃないのよ 父さん  
もう出掛けたの？ じゃあこのお弁当は誰の？  
ほら かつお 学校遅れるわよ たらちゃん それは靴べらといっ  
て靴を履くときに使うのよ ぺろぺろなめないでね 母さん 何か  
焦げてない？ かつお もう姉さん知らないからね ワカメ いつ  
まで鏡見てんのよ たらちゃん それは靴べらといって炊飯器から  
ご飯をよそうのに使うモンじゃないのよ マスオさん 帰りに蛍光  
灯を買ってきてくださいなく カツオ カ カ ツオ カ

顔を上げて 自信を持って

カツオく 学校遅れるわよ

さくてと

周りをゆつくり見直し

あら 誰もいないわ

自分の服を不審そうに見ながら あちこちつまむ

沈黙

額に手をやって深刻に悩みながら静かな声で

問題は

お夕飯 何にするか ということ

はつきり明るい声で

お夕飯 何にする 母さくん!

キツパリ立ち上がり部屋の中をゆつくり見直しながら

つくるるつるるつるる (サザエさんのテーマ)

ふくんんんんん (サザエさんのテーマ)

うたいながら うろろろしているうちにだんだん元気になっていく

らくらららつらく 今日もいい天気

部屋の中央で決めポーズ1

サザエで ございます

沈黙

だめか もう一回

さきほどの鼻歌からをもう一度繰り返しながら更にキツパリ

サザエでございます! なんだか拍手が聞こえるような気がする。

らくらららつらく 今日もいい天気

サザエでございます!

余韻で動き続けながら

さくて 来週のサザエさんは

止まる 動かずに

さくて 来週のサザエさんは

沈黙

来週？

沈黙

今日？

額に手をやる

つゝるるるるるるる

(サザエさんの歌 元気なく)

これ もうやったか

間

今日も いい天気

(何かを確かめるようにしっかりと小さな声

で)

沈黙

今日もいい天気

今日も (うたわずに 語る)

沈黙

昨日 今日 明日 昨日 今日 明日 (つぶやくように)

ふと泣きそうになり、それを振り払うように

大きな声で

たらちゃんはおおきくなったら 電車の運転手さんになるです

(たらちゃんの真似で)

ばぶ (いくらちゃんのまねで)

ひざを突いて 視線を子供のものにして

小さな声で

たらちゃんはおおきくなったら 電車の運転手さんになるです

(たらちゃんの真似で)

ばぶ (いくらちゃんのまねで)

やさしそうな声で

大きくなるには ごはんをいっぱい食べて いっぱい寝て いい子  
にしているのよ そうしたら 明日には もっと大きくなってるわよ

微笑みながら 凍りつく

間

明日には もっと大きくなって

明日には ……。

ゆつくりと思いつくように

いままでもそうだったし  
これからもそうだろうと  
信じて

かわらない  
かわらない

つゝるるるるるる

(サザエさんの歌 元気なく)

間

今日も いい天気

今日の次に来るのは

今日

今日の次に来るのは

今日

今日もいい天気

急に元気になって

かつお ったら も

そんなに急いで食べるから のどにつつかえるのよ

ほら お水

遊びに行く? 中島君と? 花沢さんもいっしょ?

宿題終わったの? もう ランドセル放り出したままなんだから。

そんなことじゃ 将来 ろくな大人になれ・・・

ふいに黙る 無表情 また急に明るく

あんた このあいだ 姉さんのへそくり見つけたでしょ。

しってんのよ、あんたが得意そうに うちの姉さんはへそくり大事  
そうに隠してるけど 全部お見通しだって となりのイササカさん  
にいったでしょ。 イササカさんから 全部聞いたわよ。

あんた、よくそういうことぺらぺらしゃべるわね。  
ほんとに 抜け目無いだから あんたったら  
今度 父さんに言いつけてやるんだから カツオのこと  
だけどよく へそくりの場所 見つけたもんよね  
おだいどこの 小麦粉の中だって

はっと口を押さえる

間

満面の笑顔

ら〜らららら〜 今日もいい天気〜

部屋の中央で決めポーズ

サザエで ございませす

嬉しそうに部屋を歩き回るが何も無いことに気付き

サザエで ございませす (ちいさな声で)

間

ポケットに手を入れる

ポケットが無い

ワカメ! これは何なの? (しかるような調子で)

姉さん お掃除してたら見つけたのよ。最初は母さんのだと思ったわよ。あたしのじゃなきや、母さんのだと思うじゃない、まさかワカメ あんたのだなんて思わないわよ。

こんな色 (口紅をひねるジェスチャー)

考えてみりや母さんはこんな色つけないわよね。いつもあんな地味な着物なんだもの。髪だっていつつもあんなに地味だし・・・。

自分の髪に手をやって

ホットイテ頂戴 あたしのことはいいのよ

いくらあたしだってこんな色の口べに持ってないわよ  
あたしのは大体デパートの試供品だし、こんな立派な口紅を・・・  
はっ! そんなことはいいのよ

えっ! もらった?

シリアスな顔になり

もらった? 会社の上司に?

不倫だからって 口紅くらいでがたがた言われたくない？

間

会社？

間

あんた 誰？

間

あたし？

急にテンションを取り戻し

サザエで ございます

真顔で

はい ふぐたサザエでございます。

で、そちらさまがワカメ・・・さん？

はあ、わたくしの妹がワカメと申しまして

よくあたくしの娘なんじゃないかと間違われるんですけど、ええ、

両親が、まあ高齢ながら、なんだかがんばっちゃいまして、ほっほ

っほっ。

間

はい、おかつぱの。よくスカートのおしりからパンツが出ておりまして。

間 視線は舞台を低く横切りつつ

えっ？ この子？

ええ、その猫は、たまです。うちの猫です。ええ、ワカメがね、お母さんごっこのときに、背中に結び付けたりいたしましてね、いやがるもんだから、もうむりやり、ええ ほっほっほっ。

間

たまじゃない？

間

たまじゃない？ その白くて へらへらした顔の猫が？

間

たまはとつくの昔に死んだ？

音楽（カッツ エピローグ かすかに 次第に強く）

女をのこし あたりはすこし暗く

死んだ？ 昔？

あんた 誰？

父さんが死んだ？ すい臓癌で？

あんたが高校生のときに？

抗がん剤の影響で、最後の一本も抜けて？

その一本を大切そうに最後の最後まで持ってたの？父さんが？

死んだ？ まじっすか？

母さんは？ え？

ハワイ？

は？

ハワイ〜！？

父さんが死んだあと、家を売り払って？

は〜わ〜い〜？

あ〜り〜え〜な〜い！

音楽 止む 同時に明転

あ〜り〜え〜な〜い！

急に強気に

フネさんが は・わ・い？

あんた 誰？

はっはっは っはっはっはっは〜 (笑う)

人が聞いてりや いい気になっ

怒るわよ ワカメはあんたみたいなちやらちやらした女じゃないわ

よ は〜 バカみたい 信じそうになっちやたじやない

調子付いて

ら〜ららららら〜 今日もいい天気〜

部屋の中央で決めポーズ1

サザエで ございま〜す

間

え？マスオさんのこと？ 蛍光灯買ってきてくれたかしら？

間

音楽（カッツ エピローグ 再び）

再び女を残し 暗く

え？

急に深刻に 静かに否定する

その話 やめませんか

音楽大きくなる

女うずくまる

搾り出すように

あたしが悪いんじゃない。あたしが悪いんじゃない。  
マスオさん あたしのせいなんですか？

音楽は女の言葉を消さないように

そりや、あたまにカーラーを巻いて寝てますよ。  
それをスカーフで覆って。

この頭 維持するの大変なのよ これでも。

これがそれほど いやだったわけ？

毎日 毎日 同じ頭で 同じ顔で

それがそんなにいやだったってわけ？

あたしには、毎日が「今日」なのよ。今日が終わって、やってくるのは次の今日。幸せはかわらない。かわらない日の続くことが幸せなのよ。髪形を変えただけで、何かが変わってしまう。何かが変わってしまう。

とりつかれたように立ち上がり

あたしは、幸せでいたかっただけなのよ。悪い？

幸せを望むのがわるいっていうわけ？

いったりきたりしながら

タイコさん

そりや すてきよ。若いし。でも・・・

たしかにこんな髪型でもないし。

あなたが、あなごさんと麻雀っていう夜は、帰りが遅くても当然の



ことだと思つてた。それでノリスケさん<sup>9</sup>が出張のたびに、あなたはあなごさんと麻雀。でも実際はタイコさんのところにいたつてわけね。

あなごさんよ。この間来たわよ、うちに、こんな顔して。あくこんばんは奥さん、ご無沙汰しちゃつて、たまにはマスオ君を麻雀に誘おうと思つて、えっ？おとといの水曜日？麻雀しませんよ、残業だったもの俺、はっはく、なるほどね、いやなんでもない、まさかマスオ君ほんただったんだなく はくん こんな顔して、あなご。え？そうよ、口を割らせました、こんな口を。

勘違いしないで頂戴。

あなたとタイコさんのことは、もういい。いいのよ別に。考えるのもいやなの。

おい、銀縁。にやにやするなよ。

許せないのは、そのホツとした顔なのよ。

あんたは、刺激を望んでる。だから、火遊びしてしまった。あんたは、変化を望んでる。だから、あたしから心移した。

音楽（大きめに）

そのくせ、あたしの顔色を見る。あたしのかわらないこの頭を見て、うんざりしながら、それでいてあたしのかわらない毎日にもぐりこんでくる。あんたは、あたしの幸せをばかにしながら、頼りにしてる。

頭にくるのは、あんたが、あたしのせいにながら、あたしから離れていくことなのよ。あたしをばかにしながら、あたしのそばでにやにやしてることなのよ。

音楽 止む

さよなら。

ニッコリしながら

ちよつと、マスオさん、そのネクタイ、そう夏物の。やつと探したのよ。へそくりで買ってあげたのよ。ちよつと持ち上げてみて。そう。もう少し高く。

バキューン（口で言いながら、銃で撃つまねをする）

目で倒れていく人の姿を追う。

自信にあふれ、興奮を抑えながら

ら〜らららら〜 今日もいい天気〜

部屋の中央で決めポーズ1

サザエで ございま〜す

あら、ワカメ、まだそんなところにいたの？

バキーン

暗転とともに音楽（「ハートブレイクドール」爆音）

## 第二章

11

音楽 和田アキ子「ハートブレイクドール」  
会場にミラーボール

曲の終了間際にゆっくり明転。第一章のはじめとおなじところに女がうずくまる。

照明はあおっぽく。冷たい留置場という感じ。まだらに白い光。

山のような洗濯物。うずもれるように女。のろのろと手馴れたようにたたむ。既にたたまれてあるものも

ゆっくり 冷静な声で

ええ

そうです

たしかに わたしがやりました。

なんども言ったじゃないですか。

何度でも言いますよ。

ええ、あたしは、夫をこの手で殺しました。

銀縁のめがねをかけた男です。ちよつと後頭部に毛がはみ出してる。これと違って特徴の無い人です。

はい。間違いありません。

出会いは？

さあ、

ああそうだ。おすしの出前。

ふふっ。つまらない出会いね、今思い返すと。

えっ？ そう、丸い桶に入ってるあれです。

父は、そのころ会社の人をよく連れてきてました。いえ、べつに、課長とか部長とか、そんなんじゃないんです。どちらかといえば、なんでこんなひとつれてくるんだらうというような人が多かつたように思います。

あなごさんって変な名前の人、そうこんな唇の人。

そんな人を連れてきては、お酒を飲んでました。ええ、そんなに強くは無かったんですが、父はそうした雰囲気が好きだったようです。

洗濯物の山に手を伸ばし、一つずつたたみ始める。たたんだものは目の前に置く。

父さん 急に連れてくるんですよ。そうして、あたしたちをその人たちに紹介するんです。自慢の家族だって。ええ、母さんとあたし。弟が生まれたばかりで。俺に似てるだろうって自慢するんです。あたしのことを毎回、結婚適齢期の美人だって会社で言いふらしていたらしくって。こんばんわって言うのと、あわててめがねを拭きなおしてる人とかいて。正直、わらっちゃやう。あたしはどちらかというと売れ残り。親の欲目っていうのかしら。ちよっとはずかしかった。

弟？ ええカツオっていいいます。

磯野さんに似てるんじゃない、将来、こちらのほうが心配ですなって、(頭をつるりとなでるしぐさ) あなごさんがいうと、父はまじめな顔になって、俺は苦労したからこんなふうになっちゃたけど、こいつにだけは苦労させたくないっていった。ふふつ。本気で怒ってた。

あたしたちは、ちょうど夕飯のときに客を連れてくる父さんに、ふふつ 本当は困ってた。お夕飯何にしようか、朝から考えて、それが一番の悩みで、さあ、いよいよお夕飯ってときに、お客様。いいえ、おすしを取るのをケチっているわけじゃないんですよ。ただね、一日中、お夕飯のこと考えてきてね、その一日を、そう、ふいに台無しにされたような気になっちゃってね。

ああ、そうそう、出会いね。

お酒、弱いけど好きな人って、飲みはじめ方はしってるけど、終わらせ方を知らないんだと思う。

いつも自分がつぶれちゃやう。そこからあととは不明。で、その日、父さんがつぶれちゃって、あなごさんも帰っちゃって、父さんを寝かすのを手伝ってくれたのが、ほら、例の銀縁。はい、マスオさんです。

なにも印象に残るようなことは無かったんだけど、ただ。

片付け物をしていて、丸い桶の中に残った、おすしを、一つの小さなお皿に移した、こんなお皿ね、そうしたら、あの人、これ食べて

っていいですかって、いえいえお客様にそんなのこりもの、いやだわああん　っていったんですけど、あの人こういつてわらってました。

僕、残り物が好きなんです。

この言葉よ。あたしが引き込まれてしまったのは。

それに、

僕、家族がいないんで、こんなお皿に乗った残り物のおすしを台所で食べるなんて、なんだか新鮮で・・・、  
なんていうじゃない、いいわよ、毎日でも台所で立ったまま残り物食べさせてあげる、って叫んでたわ、あたし。ふふっ。

音楽 (someone to watch over me)

父さんが死んだときも、おすしの出前を頼んでねえ。

間

お清めの後、人が帰って、あまったおすしを、お皿に乗せて。

こんなお皿に（大きな皿）。

結局、あたし一人でたべちゃった。誰もいない台所で。立ったまま。なみだがあふれてとまらなかった。

家族なんて不思議ね。

頼りなくてだめな人が集まって、だから

だから求めあって、家族でいられる、

カツオもワカメももう大人になっちゃって、自分の帰る場所を作っちゃって、

はやく学校にいきなさくとか、宿題やったの〜とか言わなくなつて

マスオさんの心が離れて

それでもあたしはあたしそのまま、

ひとりで台所に立って

ひとりで おすし たべちゃって

寝ているマスオさんの首をこうやってね、ええ、あのひとの夏物のネクタイでね。

ずっと家族でいられると思ってたのにね。

心が離れた人が隣で寝ているのが、怖くなってね。

あの人のネクタイでね。

間

音楽 止む

母さん？

母さんは、父さんが亡くなる2年前に、死にました。

最後はなんにもしてあげられなかった。ちいさくやせちゃって。

カツオが高校のときに雑誌の懸賞で当てたハワイ旅行、父さんと二人で行ったのが嬉しかったんでしよう、棺の中の母さんには、本人の遺言どおり、はでなムームを着せてあげた。ふふっ。ワカメの口紅を塗って。

おもえば、あのときが、わたしたち磯野家の最後だったのかも知れない。

何がおかしいんですか？

あなた いま 笑いませんでしたか？

間

不思議そうに

たらちゃん？

本当に思い当たらないという風に

たらちゃん？

何かを思い出しそうになり、それを振り払うように

たらちゃん たらちゃん たらちゃん

15

不自然なほど明るく 棒読みで

うちのたらちゃんは電車の運転手になって立派に暮らしています。うちのたらちゃんは電車の運転手になって立派に暮らしています。

えっ？ もういいでしょうって？ 何が？

手紙？ しりません。 その下にあるって？

たんだ洗濯物の下のあたりを見る

一通の手紙を見つけ、こわそうにつまむ

なんですか、これ？

読むんですか？ あたしが？

声に出して？ いまここで？

手紙をゆっくり広げ 読み始める

拝啓 妻が大変お世話になっております

手紙から目を離し、また手紙を読み始める。

先生が先月から薦めてくださっている療法の具合はいかがでしょうか。普段やりなれてきたことをすると、少しは心が落ち着くということでしたが、洗濯物をたたむのがどれほど妻の心を慰めるのか、いまとなつては、一筋の明かりに頼る気持ちです。

じつと洗濯物の山を見渡す

問

音楽 (グレッキ お母さま どうか泣かないでください)

妻はいまでも、私を自分で殺したと思ひ込んでいるのでしょうか。

もつとも殺したのは、マスオさんであつて、私ではないようですが。

問

妻は今でも、私を自分で殺したと思いついてるのでしょうか。

おもえば、それも妻の心の救いなのかもしれません。妻の両親もそういつています。自分たちも死んだことになってるけど、仕方がないと。今は、妻が苦しみから解放されることだけが望みだと。

間

カツオくんという弟や、ワカメちゃんという妹のことも、そうしたなぐさめのひとつなのでしょう。妻のお母さんは、産んだことも無い子供が二人も増えたなんて、なんだか不思議な気持ちがあるといっております。

妻が自分をサザエさんだと思いつき始めたのは

間

妻が自分をサザエさんだと思いつき始めたのは、ちょうど息子が死んで2ヶ月後のことでした。

間

本来なら息子が小学校に通い始めることになった、あの四月。桜の花がさくころに、妻が突然 学校に遅れるわよ と叫んだときのことを忘れることができません。とても楽しそうに、生き生きとして。サザエでございませぬ、と歌うように立ち上がって。

あの時、妻が悲しみから立ち上がったものと、正直すこしだけホツとしたのを覚えています。

それほど妻は激しく自分を苦しめていたのだと思います。あの時手をつないでいけば、あの時、あの道を通らなければ、と、事故のあと自分を責め続けていた妻。



息子の葬儀がおわったあと、ひとりでお清めの寿司を一心不乱に食べ続けていた妻。

そのときは、ただ取り乱しているのだとばかり思っていました。考えれば、あのころから、妻は別の世界に、別の物語の中に、行ってしまっていたのかもしれない。

妻は、次から次へと、自分の記憶を作り変えていきました。記憶はドンドン混乱していきました。自分のいる現実からドンドン離れようとしていました。普段は着ることのない極彩色のムームーを着て、近所を歩いたり、とても派手な口紅をつけたり。それは、妻が、現実の自分自身を憎んでいたからなのだと思います。

妻にとっては、自分を現実に引き戻すものが全てが憎く思えたのかもしれません。私もそういう意味で、彼女の中で殺されたのだと思います。

息子のことをたらちゃんと呼び、いつまでも子供の姿のまま、彼女の中だけで生かしておこうとしたのでしょうか。  
たらちゃんならいつまでも子供のままですから。

サザエさんの世界は、毎日が今日の繰り返しですから。

でも

時々ですが、私も妻の心の中の世界に逃げ込みたくなります。ふぐたマスオとなって、妻の尻にひかれるのも悪くないなって思えるのです。もし、彼女の心の中で、ふたたび家族が一緒になれるのなら。ふたたび微笑みのある世界に戻ることができるのなら。妻の心の中が、私たち家族が帰ることができる家なのだとしたら。

ですから、妻をこちらの世界に無理に引き戻そうとは思いません。でも、もし少しでも妻の心に光が差し込むようでしたら、この手紙を読ませてあげてください。妻に、私の気持ちを伝えたいのです。

心は離れていないと。  
現実でもいい、幻でもいい。  
過ぎ行く時間の中で離れ離れになった家族が、またあつまるところ  
が、わたしのほんとうの　ほんとうの　おうちだと。

音楽　余韻をもって終わる

間

洗濯物を放り上げ乱暴に散らかし、大笑いしながら

カツオ　いたずらにもほどがあるわよ！  
姉さん本気で怒るわよ　あっはっはっはっは

ありがとう　ごめんなさい  
ありがとう　ごめんなさい

笑い声が悲鳴のような泣き声に変わりながら

ゆっくり暗転

音楽　第三章へとつながる

### 第三章

19

音楽 和田アキ子（帰り来ぬ青春）

第一章の終わりのポーズに戻り

洗濯物はない

バキューン

間

ふうっ

指先に煙が出ているのを格好をつけて吹いているつもり

カツオ あたったんだから 倒れなさいよ

ぎゃあとか うげえとかなんとかいって。

昔だったら、派手にぶっ倒れたあと、機関銃で応戦ババババババな  
んてやってじゃない。何？ 今のあなたの倒れ方 あわわわわ つ  
て

はあく やっぱり来るものは来るのね。あなた、まだ5本くらい残  
ってるからって安心しちゃだめよ。ふうっ！（吹く）あははははは  
ごめんごめん、おこった〜？ 五本 五本〜

走って逃げる 息を切らすほど

はあはあはあはあ

お帰りなさい

お帰りなさい

そりゃ わかるわよ あなた 父さんそっくりだもの。

しらないうちに いいえ あたしがしらないふりをしている間に  
あなた 年取ったのね。

カツオはカツオのままです。いつもあたしのそばにいます。思ってたわ。  
いつも宿題をサボって。お夕飯のつまみ食いをして。それであたし  
に追いかけて。

あんたは、いつまでもカツオ。あんたはいつまでも、あのカツオ……。そんなはず無いわよね。あんたは今でもカツオ。でも大きくなって、おじさんになって、あたしの知らない男に成っちゃって。

ごめんね 姉さん あんたたちのこと、自分の中に閉じ込めてみたい。あたしの好きな姿のまま。あたしの好きな時間のまま。

人には人それぞれの時間があって、ばらばらになっていってしまった。それでも、また心の中で会いたくて。だから。

ちよつと、あんた、その服の白い粉、いったい何よ？

あつ！ 小麦粉のなか探ったわね！ こらあ！ 待ちなさい！

また追いかけるが、何かにつまづくようなしぐさ。  
足元をよく見る。

ちよつと！ ワカメ ワカメったら！ いつまでそんなところで倒れてるのよ。おどかさないでよ。

ほんと、さつきは驚いたんだから。

あんたが来て、マスオサンのことはなして。それから頭の中がごちゃごちゃになって。

また深刻になりかけて

だから、バキューンって

間

あらら、また倒れなくてもいいのよ、付き合いいいわね あんた。

間

つきあわせちゃったね、長い間。

えっ？

あたし？ あたしが誰かって？

見て分からないの？ この頭。

サザエよ？ 何か おかしい？

つゝるるつるるつるる (サザエさんのテーマ)

ふゝんんんんん (サザエさんのテーマ)

らゝらららららゝ 今日もいい天気ゝ

部屋の中央で決めポーズ1

サザエで ございまゝす

なんだか、悲しいことがあったんだ。

なんだか、涙も出ないくらい悲しいことが。

明日を迎えたくないくらい、悲しいことが。

何かに手をつなぐような動作を無意識に

間

だけどね、姉さんが、毎日 今日もいい天気ゝなんて、今日という日ばかり繰り返してたら、

周りに誰もいなくなっちゃって。

あんたたちに会いたかったゝ。

今日という日のなかにあんたたちがいなくなったんだったら、明日にいるのかと思って。

明日が来てもいいなって思って。

そうしたら



こっちにおいで。

そう？ いっぱい遊んできたの？ お腹がすいたの？

さあ、母さんの手をつかんで。そう。

さあ、大きくなるよ ほら

手を持ったまま立ち上がる。目線は、やや女のものよりも大きめに移す

ほら

音楽大きくなり 照明少し強く

お帰りなさい。

たらちゃん、母さん、あなたと会えてよかった。あなたと会えてよかった。

もういいのよ、もういいのよ。

母さんは、明日のあなたに会いたい。育っていくあなたに、また会いたい。

また会える。また、母さんのところに帰ってくるよね。

母さんが、会いたいと思っていれば、また 会えるよね。

さあ、出掛けなさい。電車の運転、するんでしょ？

なみだをふきながら、笑いながら。

たらちゃん

そう、それは靴べらといってね

正しい使い方よ、それ。

24

後ろに体を向けながら 大きな声で  
いってらっしゃい

振り返り、明るく輝くように

そうだった！ ご飯、ご飯食べていきなさい！  
母さん、腕によりをかけて お夕飯作るんだから  
ずっと、考えてたんだから。

カツオ！ ワカメ！  
みんな呼んできてちょうだい！

ステージの照明の範囲を左右広げる

母さくん  
母さくん

はやく はやく お夕飯の用意よ！  
もう かあさんいたら いつまでそのムームー着てるつもり？  
父さんは、もう帰ってきた？

父さん、今日はお客さんと一緒じゃないのね？  
いやよ、あたしがお夕飯用意して待ってたんだから。  
えっ？ お弁当わすれて、お昼食べられなかった？  
もう やくねく。子供みたいなんだから ふふっ。

一瞬動きが止まり、真顔。すぐに笑顔。

マスオさん。

お帰りなさい。

ネクタイ。



曲がってるわよ。

間

さあ、さあ、忙しくなってきた！

えっ？

みんなは何してるの？

えっ？ どこどこ？

客席上方を探すように

会場全体をオレンジ色の光があふれる。

音楽（あの鐘を鳴らすのはあなた）

あっ ほんと。あんなところに、タマったら。おかえり。

間

和田アキ子「あの鐘を鳴らすのはあなた」

会場になりひびく

あーあ。きれいな夕焼け。

きつと

あしたは

いい天気ね。

夕日を眺める女。

間

暗転

幕